

『時事直言』 No.1722 2025年1月31日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

トランプは「沼に咲く蓮の花」になれるか

最近のギャラップ調査によると、「3分の2のアメリカ人は、アメリカは間違った方向へ進んでいる」、「70%は、アメリカ経済は良くない」、「国民の政府への信頼は2000年の40%から20%に半減」、「愛国心は2000年の70%から38%に下がった」ことになっている。「アメリカは人種の坩堝」と言われるが、多人種が「混合」しているだけで「融合」していない。

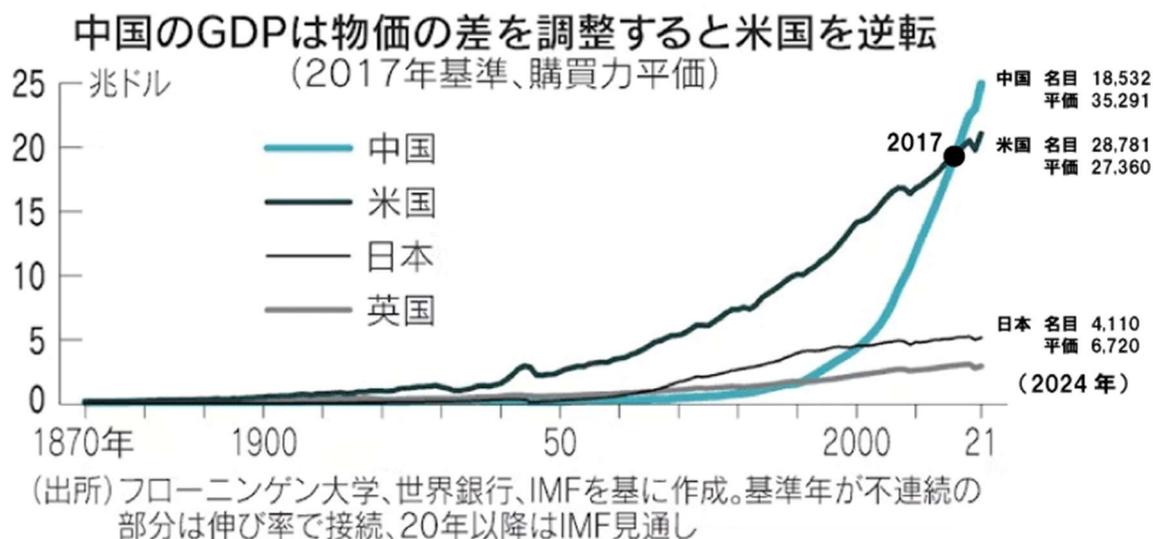
人種差別禁止、万人平等を決めた合衆国憲法で水と油を攪拌しても必ず元の水と油に分離する。

人種差別、貧富の差と社会分断はアメリカの体質である。

戦後貿易、財政黒字、世界最大の対外債権国であったアメリカは今や双子の赤字、世界最大の対外債務国である。

イエレン財務長官が警告するように、アメリカの財政は潜在的破綻状態。

通貨の購買力をベースにした(購買力平価)GDPではアメリカは2017年に中国に抜かれている。



戦後アメリカが世界を軍事・経済覇権下に収めた「古き良き時代」を取り戻そうとトランプは MAGA (Make America Great Again) を唱える。

世界の債権者が世界の債務者になった今、トランプはかつてのアメリカの栄光を取り戻すことができるのだろうか。

トランプはアメリカファーストを指針としてアメリカに黄金時代(Golden age)を築くと言う。

アメリカファーストとは、アメリカの利益の為に他国に犠牲を強いることである。

すなわち相互合意の Give and take ではなく一方的な Take and take である。

トランプは、世界最強の軍事力と世界の基軸通貨ドルの力を背景に世界にアメリカのエゴ(利己)を強い

ることでアメリカを偉大にしようとする。

飴(優遇策)と鞭(制裁)で対米輸出企業の生産拠点をアメリカに移行させ、海外の投資資金をアメリカへ極集中させようとする。

このトランプの力の政策が成功すれば間違いなくアメリカは繁栄し、正に黄金時代になるだろう。

トランプは、私が中国の国営シンクタンクでビデオ講演した主題「アメリカのアキレス腱」のコピーを送ったのに忘れていたようだ。

レーガン大統領が推し進めた「脱工業主義」の結果、アメリカの経済体質は過剰需要、過少生産のインフレ体質になっている。

「輸入無くしてアメリカの国民の生活なし」なのである。

資本主義社会では「消費者は王様」と言われる。

供給が需要を上回っている日本にとってアメリカは間違いなく王様である。

では日本とは反対に需要が供給を上回っているアメリカの王様は誰だろうか。

アメリカの家庭は made in China で溢れている。

ならばアメリカの王様は中国ではないのか。

2022年6月ニューヨークのユニオンリーグで私はCIAと国務省の幹部の前で「中国のアキレス腱」という題で講演をした。

私のユダヤ系シンクタンクを通してトランプ大統領の側近に送ってある。

もう一度「アメリカのアキレス腱」と「中国のアキレス腱」の両方を聞き直すことを近々お勧めする予定である。

トランプは対中60%関税など口にはしているが、実行すればアメリカにとっては「自殺行為」、中国にとっては「かすり傷」である。

このままではトランプは習近平に笑われることになる。

2月上旬、用事で Mr. Jim Ricards

氏に会った後、ワシントン DC に行く予定である。

第一次トランプ政権では間違った人事が多かったが、今回は能力より忠誠をベースに指名している。

だからトランプは、今は亡きキッシンジャーのような将来と目先の戦略に長けた頭脳が必要である。

見ていると「早とちり」が多いが、間違いと分かると直ぐ取り下げるなど素直なところが取り柄である。

読者は表向きの話はいい加減にして、増田塾で経済(株取引)と政治の「本当のところ」を勉強していただきたい。



「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。